

# 南海トラフ巨大地震に伴う津波避難について

## 【南海トラフ巨大地震の想定】

※H25年8月大阪府被害想定より抜粋  
(府域の被害が最大となるケース)

- ・マグニチュード9.0～9.1
- ・堺市のほぼ全域で震度6弱の揺れ
- ・地震発生後約100分で津波が到達
- ・最大津波高さは堺区で4.2m、西区で4.9m
- ・堺区で約7.7km<sup>2</sup>、西区で約9.3km<sup>2</sup>が浸水  
    ※市域の11%
- ・堺市全域で約11万4千人の避難者が発生
- ・堺市全域で約7万4千人が避難所へ避難  
    うち、津波避難者は約4万9千人
- ・堺市全域で約5万4千棟の家屋被害（全半壊）が発生



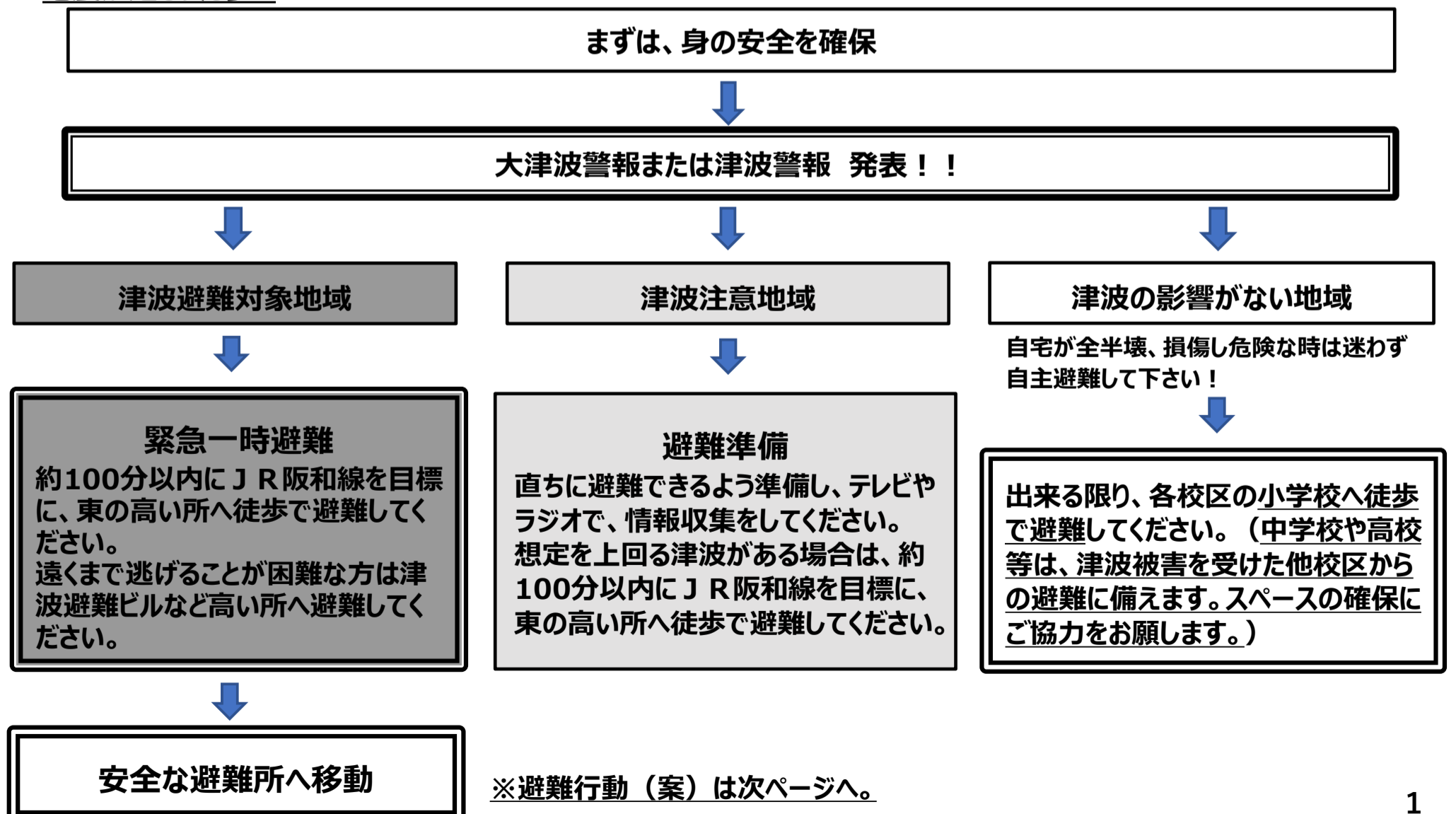
○津波発生時全ての避難者は避難所に避難できる？ ⇒ **開設する避難所へ全ての避難者が避難可能**

堺市全域の想定避難者数 <b>約7万4千人</b>	<	津波警報時に開設する避難所（140か所） 受け入れ可能人数は <b>約13万9千人</b>
津波避難対象地域の想定避難者数 <b>約4万9千人</b>	<	津波警報時に開設する避難所のうち、 小学校を除く避難所（61か所） 受け入れ可能人数は <b>約6万6千人</b>

○津波で備蓄食料が流されても、備蓄食料は足りる？ ⇒ **残った備蓄食糧で避難者全員の3日分は確保している**

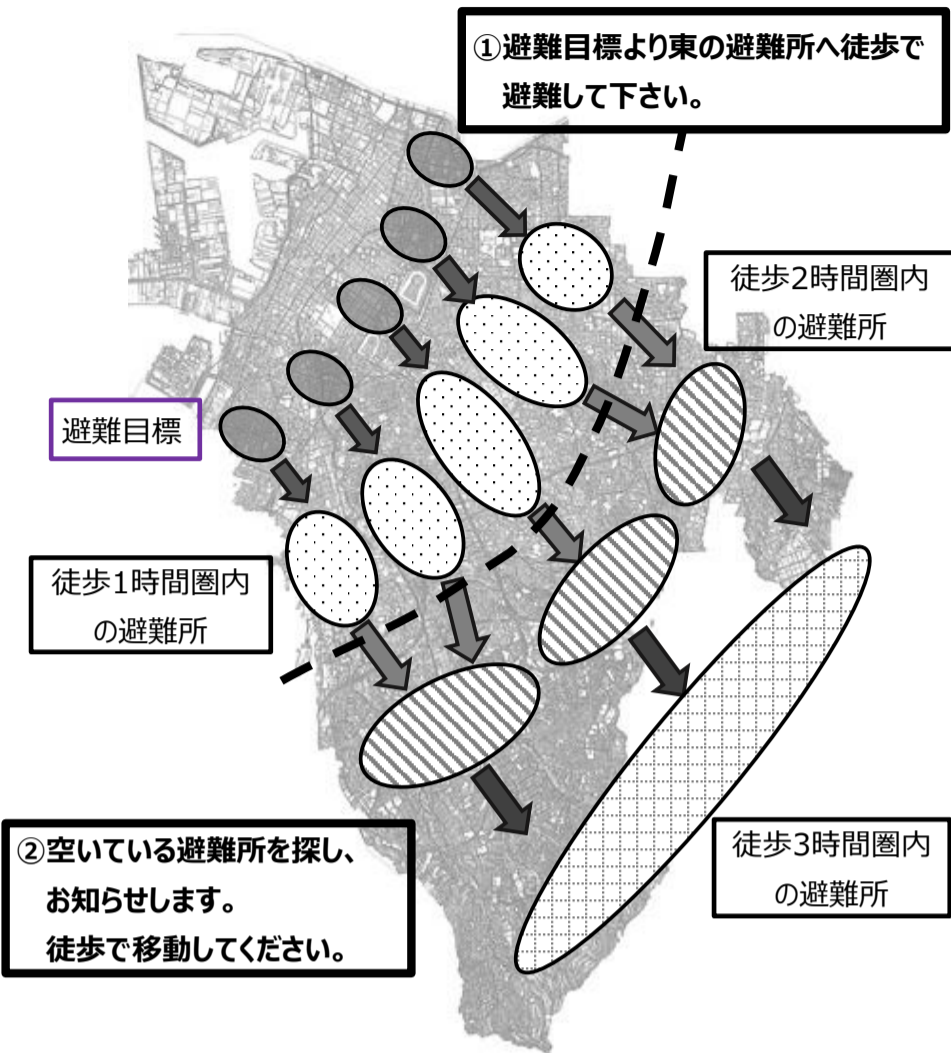
避難所避難者数の3食3日分 <b>約80万3千食</b>	<	<table style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">全備蓄数 約82万食</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">津波で損失する備蓄数 約1万4千食</td> <td style="text-align: center;">=</td> <td style="text-align: center;">残備蓄数 約80万6千食</td> </tr> </table>	全備蓄数 約82万食	-	津波で損失する備蓄数 約1万4千食	=	残備蓄数 約80万6千食
全備蓄数 約82万食	-	津波で損失する備蓄数 約1万4千食	=	残備蓄数 約80万6千食			

## 地震が起こったら・・・



## 避難行動（案）

### ◎ 避難行動のイメージ



津波避難対象地域を含む校区と避難先

区	校区名	避難目標	徒歩1時間圏内	徒歩2時間圏内	徒歩3時間圏内
堺	三宝校区 (北・中部)	浅香山方面	浅香山中学校 勤労者総合福祉センター (サンスクエア堺) 五箇荘中学校 金岡北中学校	八下中学校 府立金岡高校 南八下中学校 日置荘中学校 美原西中学校	美原体育館 美原中学校 さつき野中学校 みはら大地幼稚園 野田中学校 府立堺東高校 晴美台中学校 庭代台中学校 美木多中学校 府立成美高校
	錦西校区 (北・中部)				
	錦校区 (北部の一部)				
	三宝校区 (南部)	三国ヶ丘方面	府立三国丘高校 三国丘中学校 長尾中学校 金岡公園体育館 市立堺高校 金岡南中学校		
	錦西校区 (南部)				
	市校区				
	英彰校区	大仙公園方面	旭中学校 陵南中学校 中百舌鳥中学校 深井中央中学校 深井中学校 東百舌鳥中学校		
	大仙西校区				
	少林寺校区				
	湊校区				
湊西校区					
神石校区	上野芝方面	津久野中学校 上野芝中学校 家原大池体育館 教育文化センター (ソフィア・堺) 八田荘中学校 原池公園体育館			
浜寺石津校区					
西	浜寺石津校区 (浜寺石津町中5丁)	鳳方面	浜寺中学校 浜寺南中学校 鳳中学校 府立堺上高校 鳳高校 福泉中学校		
	浜寺東校区				
	浜寺校区				
	浜寺昭和校区				
	平井中学校 府立福泉高校 福泉南中学校 府立堺西高校 宮山台中学校 柵文化会館 赤坂台中学校 府立泉北高校 鴨谷体育館 原山台中学校 若松台中学校				

① 避難目標まで避難した後、出来るだけ自主防災組織や自治会等で集まっておられ、より東にある小学校以外の避難所（中学校・高校・体育館、文化施設等）へ徒歩で避難してください。

② 市が、他の避難所と連絡・調整の上、空いている中学校や高校などの避難所を探し、お知らせします。

(例) 三宝校区（北・中部）からの津波避難は、避難目標の「浅香山方面」に避難後、徒歩1時間圏内の「浅香山中、サンスクエア堺、五箇荘中、金岡北中」へ移動。

徒歩1時間圏内の避難所に空きが無ければ徒歩2時間又は3時間圏内の避難所に段階的に移動。

### ◎ 避難所運営のイメージ

指定避難所の施設	想定する運営主体
中学校・高校・体育館・文化施設など	津波からの避難者（自主防災組織）、近隣からの避難者など
小学校	所在校区の自主防災組織、自治会など

**Q. 何時間も歩いて避難できない。ほかの手段はないのか。**

A. 道路等も相当な被害があり、発災当初は行政機能も十分ではないと想定をしています。まずは可能な限り、自身で徒歩移動して、自らの安全を確保していただきますようお願いします。

**Q. なぜ、津波からの避難者は小学校以外の中学校や高校等の避難所へ行かなければいけないのか。**

A. 各校区では小学校への避難が浸透しています。発災時は小学校に当該校区の避難者が多くいることを想定し、他の校区からの避難スペースを中学校や高校等に確保する考えです。その他の開設している小学校については、避難の状況を把握した上で、受け入れの確認が出来れば、津波からの避難者に避難していただくことを想定しています。

**Q. 津波避難地域や津波注意地域にある自分の校区の避難所には戻れないのか。**

A. 津波のリスクがなくなった後、津波避難対象地域、津波注意地域内にある避難所の被害状況を確認します。使用可能であれば避難所として開設し、戻っていただくことも想定しています。

上記、避難行動（案）について、各校区自治連合会の皆様からのご意見を参考にし、年内を目標にとりまとめを行う予定です。ご協力をお願いします。

堺市 危機管理室 防災課 072-228-7605